



個性を磨き、より良い未来を創る

副校長 宮澤 慎二

まばゆい夏の光が降り注ぎ、1学期の締めくくりを迎える季節となりました。保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

目指す学校像「生徒一人一人の個性が開花する学校」の実現に向け、今学期、生徒たちは日々の学習や運動会等の学校行事に全力で取り組みました。本校は、その取り組みのなかで、変化が激しく、将来の予測が難しい現代社会に対応するため、自らの未来に向け学びを深め、「より良い未来」を創り出す力を養っていきたいと考えています。そのため、本年度より、総合的な学習の時間の名称を「未来創造」と呼称することとし、生徒自身の興味・関心を出発点とする探究的な学習と、将来の生き方を考えるキャリア教育を連動させた学びを本格的に推進してまいります。

この「未来創造」の時間では、生徒が自ら問いを立て、情報を集めて分析し、自分なりの答えを導き出すプロセスを大切にしています。各教科で学んだことを活用しながら、「なぜ?」、「どうして?」と自分の学びを深く掘り下げていきます。結果、テーマの数だけ多様な個性が輝きます。そして、自ら選んだ課題に主体的に探究するプロセスを通じて、論理的な思考力や問題解決能力を自然と身に付けていきます。この自分の好きなことをとことん突き詰める経験こそが、他者にはない「自分だけの強みや個性」を自覚し、磨き上げる貴重な機会ともなっています。この経験を基に生徒は、「自分は将来、社会でどのように生きていくか」というキャリア教育へと学びを発展させていきます。

中学校時代は、自己理解を深め、社会の仕組みに関心を持ち始める大切な時期です。「未来創造」を通じて「自分が何に心を動かされ、社会のどんな課題を解決したいのか」を知ることは、将来の職業選択や生き方の軸（キャリア）を作ることに繋がります。世の中にどのような仕事があり、自分の個性をどう活かせば「より良い未来」の創り手になれるのか。学びと自らの生き方との繋がりを意識することで、生徒たちは「未来の自分」を具体的に描き始め、日々の教科学習に対するモチベーションも大きく高まっています。

間もなく始まる夏休みは、学校の枠を飛び出し、自らの生き方の探究をさらに深める絶好の機会です。保護者の皆様には、ぜひお子様の知的好奇心を刺激し、将来や社会について語り合う時間を取っていただければ幸いです。

7月の主な予定

1日(水) 生徒会選挙公示日
3日(金) 薬物乱用防止教室(2年)
第1回進路説明会(3年)
6日(月) 専門委員会
7日(火) いのちの授業(3年)
10日(金) 漢検(希望者)
卒業生のお話を聞く会(3年)
13日(月) 評議委員会
14日(火) 生徒朝礼 避難訓練(風水害)

16日(木) 美化活動(PM)
学校運営協議会
17日(金) 終業式
生徒会意見交流会
20日(月) 海の日
21日(火) 夏季休業日始
夏季教育相談(三者面談)始
～8月上旬まで
※17日(金)は、給食はありません。

Ⅰ 組移動教室

6月10日(水)～12日(金)

3日間の野辺山移動教室を無事に終え、Ⅰ組の生徒25名は多くの思い出とともに学校へと帰ってきました。

1日目は、飯盛山登山に挑戦しました。天候にも恵まれ、ハルゼミの合唱が響く爽やかな山道を、仲間と励まし合いながら一步一步歩みを進めました。山頂から望むハケ岳連峰や野辺山高原の大パノラマは、登り続けた疲れを忘れさせてくれるほどの美しく、達成感とともに心に深く刻まれる景色でした。2日目は、ほうとう作りと田植え体験を行いました。班で力を合わせ、粉から一つ一つ手作りしたほうとうは、笑顔あふれる格別の味でした。田植えでは、素足で感じる泥の感触を楽しみながら苗を植え、普段何気なく食卓に並ぶお米が、多くの手間をかけて育てられていることを肌で感じることができました。3日目は、乗馬とボルダリングを体験しました。馬のぬくもりや鼓動を間近に感じる乗馬体験は、命の尊さを実感する貴重な機会となりました。また、移動教室で初めて実施したボルダリングでは、初めて目にする本格的な施設に目を輝かせながら、自分の限界に挑戦しました。課題をクリアしたときの達成感は、大きな自信につながったことと思います。

この3日間での様々な体験や、仲間と協力して過ごした集団生活は、普段の学校生活では味わえない学びと感動に溢れていました。この経験をこれからの学校生活や日々の行動に生かし、一人ひとりがさらに成長してくれることを切に願っています。

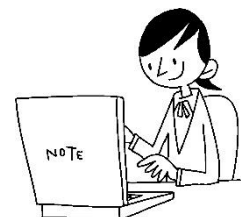
(文責：鮎沢)



セーフティ教室

6月13日(土)

蒲田警察署の方をゲストティーチャーとしてお招きし、身近に潜むSNSの怖さについてお話をいただきました。SNSは相手の顔や本当の気持ちが見えないため、軽い気持ちで書いた言葉が誰かを傷つけてしまうことがあります。また、一度インターネット上に出した写真や文章は、完全に消すことが難しいというお話がありました。



また、SNSを利用した犯罪として、「闇バイト」についてのお話もありました。「簡単に稼げる」「短時間で高収入」という言葉から多くの人が手を出しています。2025年の認知件数は約43,000件、被害額は約3,257億円だそうです。その闇バイトに手を出してしまっている中学生もいるということが事実です。犯罪をするつもりではなくても、「荷物を受け取るだけ」「簡単な手伝いをするだけ」のように、一見闇バイトに見えないものもあるそうです。なかなかコミュニケーションがとりづらくなる夏休みだからこそ、自覚をもって過ごしてほしいと思います。

(文責：丸山)

引き取り訓練

6月13日(土)

13日に実施された避難訓練では、震度5強以上の地震が発生し、生徒だけでの下校は困難と判断したことを想定とした引き渡し訓練を行いました。今回の訓練を通じて、実際の災害時には学校と家庭が連携して行動することの必要性を再確認できたと思います。改めて保護者の皆さま、ご多用の中ご協力いただきありがとうございました。

(文責：羽鳥)



学校安全衛生委員会

「熱中症」について内科校医の横山先生からご講話いただきました。「熱中症」とは、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態です。屋外だけでなく室内で何もしていないときでも発症する可能性があり、場合によっては命を落としてしまうこともあります。自力で水分補給ができなくなったら、すでに危険な状態で救急搬送が必要になるケースが多いそうです。掌を氷水に浸すことも対応策として有効であることを教えていただきました。

今年度、PTA 提供により冷水器と製氷機が体育館前に設置されました。生徒会で使用ルールを考えて使用しています。水筒の中身が無くなり休み時間になると、冷たい氷と水を入れに体育館前に生徒が集まる様子が見られます。また、部活動などでケガをしたときにすぐに氷でアイシングすることもできています。

(文責：岡)

